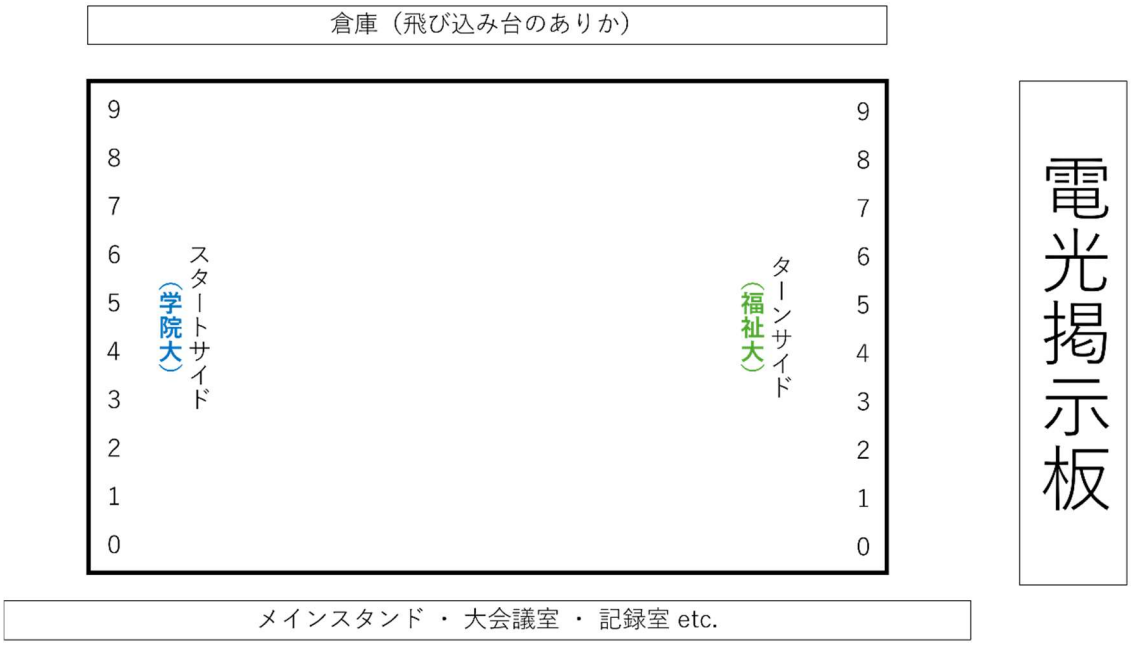
1. 飛び込み台の設営

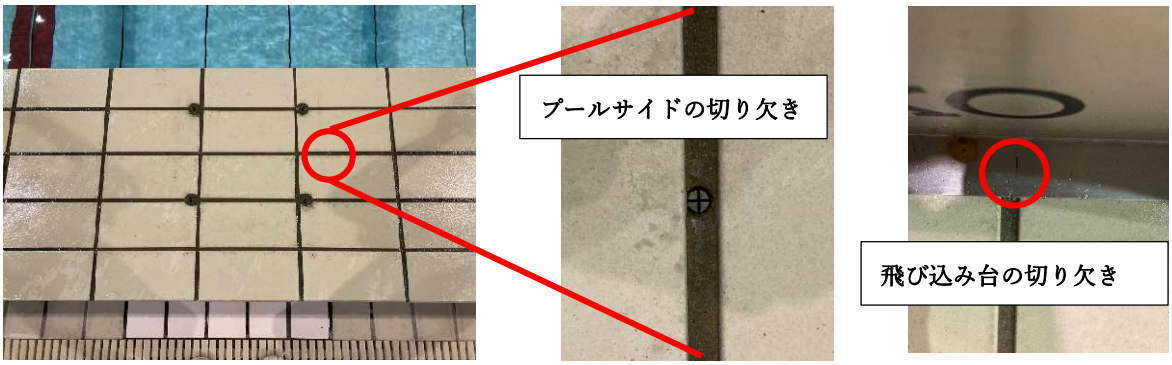
担当：東北学院大学・東北福祉大学



大会議室側を 0 レーン、サブスタンド側を 9 レーンで設営
※間違った場所に飛び込み台を取り付けてしまったら、レーン番号のマグネットを剥がして正しいレーンに貼る（わざわざ飛び込み台を置きなおす必要なし）

倉庫から飛び込み台を出してくる。その際**スタートサイド用のものには「S」、ターンサイド用のものには「T」**と書いてあるので、その通りにする

（倉庫のダイビング側にこのようにおいてある）



上の画像左部分におおよその位置を合わせておく。
置いた後、画像右のような**十字と飛び込み台の切り欠きを合わせ**て、前後左右を合わせる。
※**中体連の練習会ですでに取り付けられている飛び込み台も位置があっているか確認**
（あっていなかったら面倒だがねじを緩めて位置を合わせなおす）
位置を合わせたらボルトで固定する

2.タッチ板の設営＋イス、かご等の準備

担当：東北学院大学・東北福祉大学

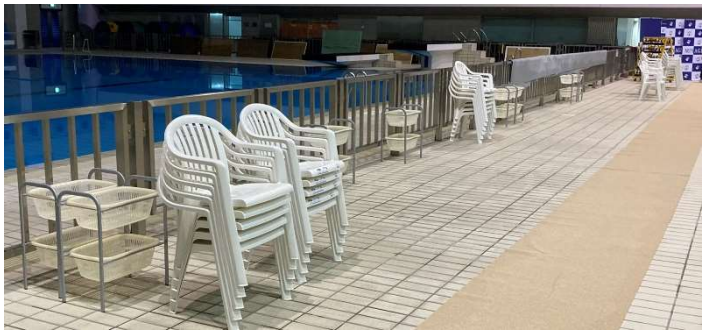
飛び込み台設営後、タッチ板を入れる。
※タッチ板から入れてもいいが、そうすると飛び込み台のボルトが固定しにくいので、飛び込み台の設営を先にするとよい。

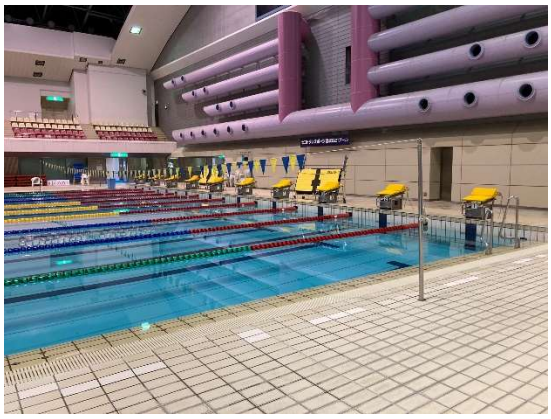
注意事項

台車が計時装置の配線を踏まないように注意！！
タッチ板が極力曲がらないように運ぶ
タッチ板を飛び込み台にこすりつけないように注意する

タッチ板設置まで終わったら・・・

脱衣かご、イス（選手用・役員用）、グリップをかけるポール、役員用のステップ、スターター台を倉庫から運んできて、きれいに置く
※イス等はタッチ板をしまう台の邪魔にならないように壁際に置く
その後招集所の設営を行う





タッチ板のテストが終わって片付けるときは、翌朝すぐにタッチ板を入れられるように
このように置いておく

3.招集所の設営

担当：東北学院大学・東北福祉大学・（事務準備が終われば仙台大学）

ターンサイド側、更衣室からの入り口近くにベンチを設置。
詳細は幕内さん（福祉大）に確認すること。